

## 平成 30 年度 奈良県知事賞

私達は税金の無駄使い？

野迫川村立野迫川中学校 三年 林 陽

税金の無駄使いという言葉があります。問題にもなっています。私は生活面では、なるべくいろんなものを無駄使いしないように、意識して暮らしているつもりです。

今回、税の勉強をするにあたって、公立学校の児童や生徒一人当たりの公費負担教育費を知りました。小学生・中学生・高校生の中で、最も多額であったのは、私達中学生です。理由は先生が教科ごとによって、違うからであったり、下校時間後の部活動や、次の授業の用意であったり、教科書の量であったりだと思います。

私の中学校は人数がとても少なく、負担教育費は、ものすごく高いと思います。さらに、私達の村の村長さんは、この村の子供達は「村の宝」と言ってくださり、いろんな面でサポートをしてくださいます。だから、他の村立の中学校よりも、負担教育費は上回ると思いました。

今の私達は、このように様々な事をしてくださり、とても幸せです。しかし、それはある意味で、税金の無駄使いなんじゃないかなと、思いついた時、自分ながらびっくりしてしまいました。

たとえば、もし、私達中学生数名が他の市町村に引っ越して、この村に中学校がなくなれば、どんな所のお金が無くなるのでしょうか。

まず学校では、土地や建築物が必要になるので、県や村で必要な施設維持費が節約できます。そして、学校だけでなく、働く人達の人件費がなくなります。村全体で考えると、電気代や水道代などの設備費や、けがをした時の医療費もなくなります。

そう考えると、私達の村の中学生が大きな中学校に転校することで、本当に大きなお金が節約できるんだなぁと思います。それは「税金の節約」なのか「税金の無駄使い」なのかは、今の私にはよく分かりません。

ただ今は、私が生まれ育った村で、中学校に通うことができることを、感謝しながら、精一杯努力して、勉強に励みたいと思います。